

末広



末広町プロムナードが 新しくなりました

平成24年度の公共緑化で、JR鶴見線河口踏切からふれーゆに続く末広町プロムナードの街路樹植栽帯の再整備が行なわれました。実施区間は、東京ガス環境エ



2012年10月撮影
▲再整備前



写真01 3月撮影 画像提供:横浜市



写真02 3月撮影 画像提供:横浜市
▲東京ガス環境エネルギー館前

ルギー館前、東京ガス前、東芝タービン工場前。街路樹の下枝が掃われ、密植されて緑の壁のようになっていた樹木が

整理されました。繁茂していたススキも取り除かれ、新たにササ類や宿根草等が植え付けられました。

フラワーロード区間と併せると、末広町プロムナード沿道での花苗植え付けが広がります。



▲再整備された区間

資料提供:横浜市(編集にてフラワーロード区間追加)



写真06 5月撮影 JFEトンボみち・旭硝子前



写真05 5月撮影 東亜合成前
▲フラワーロード花苗植付区間



写真04 3月撮影 画像提供:横浜市
▲東芝タービン工場前



写真03 3月撮影 画像提供:横浜市
▲東京ガス前

平成24年度購入備品のお知らせ

平成24年度に末広地区緑のまちづくり協議会で購入した備品と保管場所をお知らせします。(①購入備品 ②保管場所)

使用に関しては、協議会物置内備品はJFEエンジニアリング、事務局備品は協議会事務担当、その他備品は保管場所各社までご連絡ください。

	①物置 1基 ②JFE トンボみち内		①発電機 1台 ②協議会物置		①刈払機 2台 ②協議会物置、環境エネルギー館各1台
	①テント 2張 ②協議会物置		①水中ポンプ 1台 ホース 1本 ②協議会物置		①剪定用トリマー 1台 ②協議会物置
	①脚立 1台 ②協議会物置		①燃料缶 1個 バケツ 1個 ②協議会物置		①A3対応プリンター 1台 ②事務局

3つのプロムナード計画はつながっていた？

鶴見線鶴見小野駅から続く「小野町プロムナード」を末広ファクトリーパーク前の広い道に出たところから西側の歩道が広くなっており、ここから「ふれーゆ」前までが「末広町プロムナード」と呼ばれています。サイエンスフロンティア地区としてゆったりとした植栽帯のあるこれらの歩行者空間のほとんどは、旧貨物線鶴見川口支線に沿って整備されましたが、廃線跡地には旧国鉄の境界標の一部が今でも存地しています。



▲3つのプロムナードと旧貨物線



▲小野町プロムナード

東京ガス環境エネルギー館の沿道部分は、旧鶴見川口駅があった場所です。駅といっても、貨物専用駅だったため、乗降客はなく東京ガスや旧鶴見曹達への線路が敷設された貨物積卸しヤードでしたが、駅の一角には、駅員が常駐する建物もありました。

昭和57年に駅は廃止され、



▲末広町プロムナード

環境エネルギー館の整備(平成10年)にあわせて、その後、前庭及び緑化駐車場に変わりました。

時期を同じくして、清掃工場建設用地として、横浜市による「末広半島」突端部の埋立事業が始まり、港湾緑地計画



▲平成7年操業時の鶴見工場

と工場余熱を利用した市民利用施設等が計画され、平成7年、ここへ至る木陰の散歩道として末広町プロムナード



参加者募集

「親子で生きもの観察会2013」

専門スタッフの指導のもとで、子供たち自身でトンボ池に棲んでいるヤゴたちをつかまえ、水辺の生きものとふれあいます。



▲昨年の親子で生きもの観察会 (画像提供 JFEエンジニアリング)

日時：5月26日(日) 10時~12時
(雨天の場合は屋内で実施)

会場：JFEトンボみち

対象：小学生と保護者(きょうだいの就学前児童も参加可)

定員：30名(先着順)

参加費：一人200円(傷害保険等、きょうだいの就学前児童は無料)

申込み：5月13日(月) 午前9時より、FAX又はeメールで受付
住所、氏名(全員分)、希望人数、学年、電話(FAX)番号を明記

FAX：045-505-6546

eメール：motomura-tomoko@jfe-eng.co.jp

問合せ：JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所 環境保安室(相馬、元村)

電話：045-505-7447



トンボでつなぐ京浜の森 10年の記録

京浜臨海部

2003年に京浜臨海部においてトンボ調査が始まり、今年で10年。その間の活動を記録した報告書(発行:トンボはどこまで飛ぶかフォーラム)がまとめられました。この間の参加企業における企業緑地の変化や調査結果の解析を通して



▲10年の記録 報告書
A4 44頁

活動の成果を整理するとともに、現在の同会の活動、参加している企業や市民団体の取り組み、企業緑地以外の調査地点、他機関との協働等が紹介されています。お問合せ等は下記へ。

トンボはどこまで飛ぶかフォーラム事務局

TEL:045-534-7587 FAX:045-534-7597

E-mail: tonboforum@mail.goo.ne.jp

が整備されました。

平成16年には、京浜の森づくり事業の一環として、鶴見つばさ橋や房総を望むことができる水際線において市民や就業者約800人により約9,000本の苗木植樹が行われ、その後、港湾緑地としての整備が進み、平成18年に「末広水際線プロムナード」がオープンしました。



▲末広水際線プロムナード

今年は、市民植樹10周年記念! 苗木も大きく育ちました。新たな活動につなげましょう!



ドングリ苗木植樹が 寿老橋橋詰にお引越し

貨物線の森緑道公園整備予定地内の一部が、横浜環状北線生麦ランプ建設のため、土砂置場・資機材置場等に利用されます。これに伴い利用範囲には仮囲いが設置され、既設の植樹も寿老橋橋詰へ移設されます。

工事の一方で緑豊かな環境づくりも進みます。新たな植栽には、地域小学校の生徒のみなさんがドングリから育てた苗木を、地元企業、緑化ボランティアのみなさんと協働で植樹します。更に、この場所に続く区間(貨物線の森緑道整備予定図の緑枠区間)では、平成25年度の緑道整備が予定されています。



貨物線の森緑道予定地に 小学生が植樹をします

駒岡小学校6年生のみなさんが、ドングリから育てた苗木を、地元企業、緑化ボランティアのみなさんと協働で貨物線の森緑道予定地に植樹します。

日時：6月7日(金) 午前中

会場：貨物線の森緑道予定地 寿老橋橋詰鶴見区側
(鶴見区大黒町)

お手伝い等をしていただける方は6月4日(火)までに下記へご連絡ください。

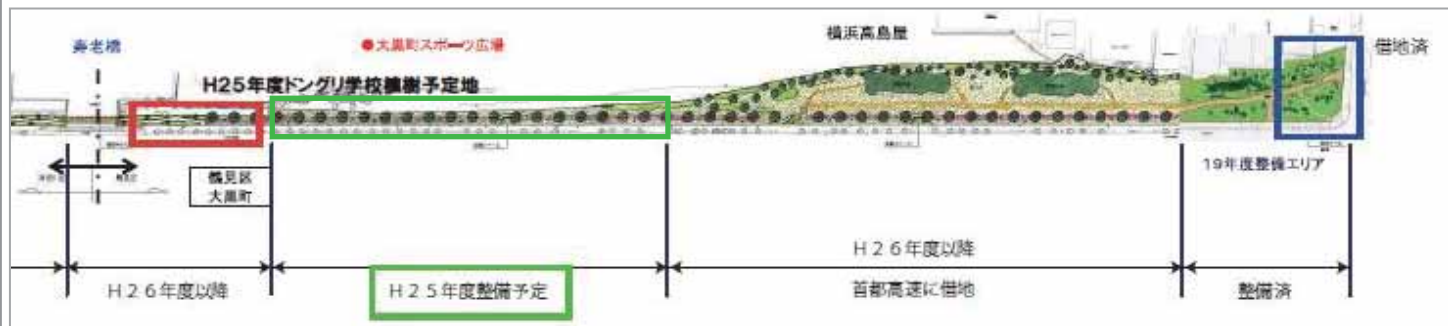
貨物線森ファン倶楽部 事務局 山田

FAX : 045-433-6677

E-mail : YFA47705@nifty.com



▲工事利用範囲と植栽樹移設(資料提供:横浜市)



▲貨物線の森緑道整備予定(資料提供:横浜市)

平成24年度購入備品のお知らせ

平成24年度に生麦新子安地区緑のまちづくり協議会で購入した備品と保管場所をお知らせします。

- ① 購入備品
- ② 保管場所

使用に関しては、協議会事務担当までご連絡ください。



- ①リヤカー 1台
- ②貨物線の森緑道内愛護会物置



- ①ビデオカメラ 1台
- ②事務局



- ①プラ舟 1基
- ②貨物線の森緑道内愛護会物置



- ①ICレコーダー 1台
- ②事務局



- ①200Lポリタンク 1基
- ②貨物線の森緑道内愛護会物置



- ①バケツ 2個
- ②貨物線の森緑道内愛護会物置



- ①ラミネーター 1台
- ②事務局

地球も大きなビオトープ
in キリン横浜ビアビレッジ
自然の恵みを感じるツアー ～スペシャルバージョン～

キリン横浜ビアビレッジで毎週日曜日に開催されている工場見学と庭園をめぐる「自然の恵みを感じるツアー」ですが、第三日曜日は、そのスペシャルバージョンとして、ビオトープでの生きもの観察が



▲ビオトープでみられる生きもの説明

楽しめます。4月28日(日)には「NPO法人鶴見川流域ネットワーク



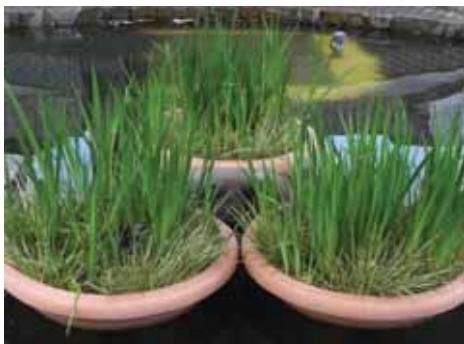
▲手で触りながらの観察は子どもたちに大人気

キング」の小林事務局長さんと二見さんがガイド役で登場。お二人からビオトープの役割や、ここで見られる生きもの説明があったあと、子供たちはその日に採取されたメダカ、アメリカザリガニ、ヤゴ(シオカラトンボ、アジアイトトンボ)、クロチビミズムシ、タニシなどを手で触って観察していました。「幼い子供たちは、生きものを手触りで感じようとします。」と小林さんの言葉。そして、暖かい天気誘われたのでしょうか、トンボの羽化が始まっていたよう



▲羽化したばかりのシオカラトンボ

です。羽化したばかりのシオカラトンボをみんなの前で捕獲



▲カルガモ、どこにいるのかな？

して観察することも出来ました。カルガモもいましたヨ！

ツアーの締めくくりは、ビールと清涼飲料の試飲。ツアーのあとの乾いた

喉で、3杯のお好きなビールを、自然の恵みを感じながら味わえるのは最高ですネ。ツアーによっては、昨年新発売された「一番搾りフローズン(生)」の試飲もできます。

このツアーの最新情報は、つぎのWEBでどうぞ。

<http://www.kirin.co.jp/about/brewery/factory/yokohama/event.html>

「貨物線の森ファン倶楽部」から



▲大黒町 野草観察



▲大黒？ネギの収穫

4月20日(土)は、新子安橋のプランターの花がら摘み。「花がら」とは花が咲き終わっても散らずに残っている枯れた花のこと。ひとつひとつの花を見ながら摘みとる作業は結構手間がかかりました。その後はゴミを拾いながら昭和電工前の植栽や恵比須町の植樹地の手入れ。白いシャガの花がたくさん咲いている中、誰が蒔いたのでしようか、カスミノウも咲いていました。冬に黄色い花をつけていたツワブキの、新しく伸びた茎の収穫もしました。



▲新子安橋 花がら摘み



▲昭和電工前 手入れ



▲恵比須町 カスミノウ

今月はサクラの接ぎ木もします。ご参加お待ちしております。

- ①サクラの接ぎ木、草取り 5月12日(日) 9～12時 大黒町
 - ②手入れ 5月18日(土) 9～12時 新子安橋
- 6月の活動日は9日(日)と15日(土)です。

編集担当から

◆一緒に緑化活動をしている方から聞いたところでは、末広の辺りにハクビシンが出没したとかしないとか。とても臨海部の工業地帯の話題とは思えませんが、本当の話。野鳥図鑑でしか見たことのないヤマガラに出会ったのも京浜臨海部。次は何に出会えるのでしょうか。この場所の想像をはるかに超える可能性に、いつもワクワクしています。(Y)

